aigo

aigo デジタルカムコーダー
AHD-S11
取 扱 説 明 書

本書には、重要な注意事項や製品のお取り扱い方法が記載されています。よくお読みのうえ、製品を正しく安全にお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

もくじ

安全に関するご注意

お使いになる前に、必ずお読みください。

本製品を安全に正しくご使用していただくため、下記には重要な内容が記載されています。よくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

⚠危険	この表示の項目は、「死亡または重傷などを負う危険発生の切迫度が高い」内容です。
⚠警告	この表示の項目は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の項目は、「人が傷害を負う可能性、または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

⚠危険

充電池を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。

充電池の液漏れ・発熱・発火・破裂により、大けがや火災の原因になります。

ご自身で修理、分解、改造をしないでください。

故障の原因になる上に、感電の危険があります。また、本製品には小さな精密部品が内蔵されており、特に小さなお子様などのまわりでは誤飲の危険があります。絶対にしないでください。

付属品のケーブル類を首にかけてふざけたり遊んだりしないでください。

特に小さなお子様のまわりにケーブル類を放置しないでください。窒息事故の危険があります。

⚠警告

充電池に関する警告　以下は、充電池の液漏れ・発熱・発火・破裂の原因となり、大けがや火災の原因になります。

充電池から漏れた液が皮膚や服についた時は、すぐに水で洗浄してください。
万一、液が目に入ってしまった場合には、すぐに大量の水で洗浄し、直ちに医師に相談してください。

付属の充電池を他の機器で充電したり、他の充電池を本製品で充電しないでください。
本書記載の定められた以外の方法で充電しないでください。

発熱・発火・破裂により大けがや火災の原因となります。

充電池を小さいお子様の手の届く場所に放置しないでください。

誤飲による窒息や中毒の恐れがあります。

雷が鳴りだしたら、AC電源アダプターの電源プラグに触れないでください。
落雷による感電の原因になります。

充電池を取り外しする際には、必ず製品の電源をオフにしてください。
感電や、やけどの恐れがあります。

万一、製品が異常に熱くなる、異臭や煙りが出た場合や、機器の内部に異物や水などが入ってしまった場合は、直ちに使用を中止して、製品から充電池を取り外してください。
使用を中止しないと、火災や感電の原因となります(やけどに十分に注意しながら充電池を取り外してください)。その後弊社までお問い合わせください。

長時間カメラを使用した直後に充電池を取り出さないでください。
充電池が熱くなっているため、やけどの原因になる恐れがあります。

本製品をお手入れする場合には電源をオフにして、充電池を取り外してからおこなってください。
感電や、充電池に異常が起こった場合、やけどの恐れがあります。

その他取り扱いに関する警告

歩行中、乗り物の運転中などに本製品を使用しないでください。
転倒や交通事故の原因となります。

レンズを強い光源や太陽に向けないでください。
集光により、カメラ内部が破損・故障したり、ショートなどによる発熱で火災の原因となります。

本製品に水を掛けたり、濡らしたり、多湿・ほこりの多い場所での使用・保管は避けてください。
内部に水やほこりが入ると、感電や故障、火災の原因になります。

長時間使用すると製品が熱くなることがありますので、ご注意ください。
熱い状態の製品と身体の一部が長時間触れたままでいると、低温火傷になる恐れがあります。

金属類・燃えやすいものなど、異物を内部にいれないでください。
火災・感電の原因となります。

⚠注意

撮影を始める前に『試し撮り』をしてください。
正常に撮影されることを確認してください。

製品を落としたり、叩いたり、乱暴な扱いをしないでください。
故障や破損の原因になります。

ストラップを使用して本製品を持ち運びする場合は、他のものに引っ掛けたり、ぶつけたりしないようにご注意ください。
けがや事故の原因となります。

製品を直射日光の当たる場所、いちじるしく高温・低温になる場所での使用・保管は避けてください。

製品が劣化し、故障の原因になります。

製品をお手入れする場合には、乾いた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。アルコールやベンジンなど、化学薬品は使用しないでください。

製品が変質・変色してしまう恐れがあります。

製品の可動部、取り付け部を無理な方向に引っ張ったり、折り曲げたりしないでください。

故障や破損の原因になります。

充電池の電極部や、製品の金属端子部はいつも清潔な状態で使用してください。

汚れがあると接触が悪くなる場合があります。乾いた布でよく拭いてからご使用ください。

液晶モニタに衝撃を与えないでください。

破損したり、ガラスが割れたり、内部の液が出てくることがあります。ご注意ください。

製品を長期間ご使用にならない場合は、充電池を外して保管してください。

長期間充電池を入れたままにしていると、液漏れが起こる可能性があります。

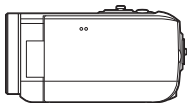
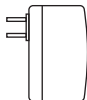
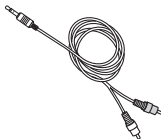
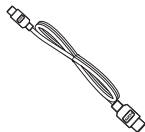
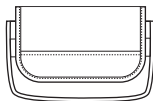
その他 ご注意

◎ 本製品およびパソコンの不具合により、データが破損、または消去された場合のデータ内容の補償に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎ 本製品でのご使用により生じたその他の機器やソフトの損害に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎ 本製品でのご使用、または使用不能から生じる附随的な損害(事業の利益損失、中断など含む)に対し、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
◎ 本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。

著作権についてのご注意

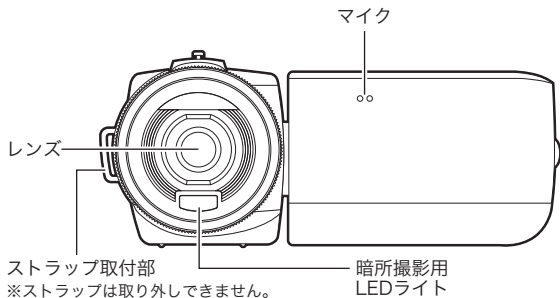
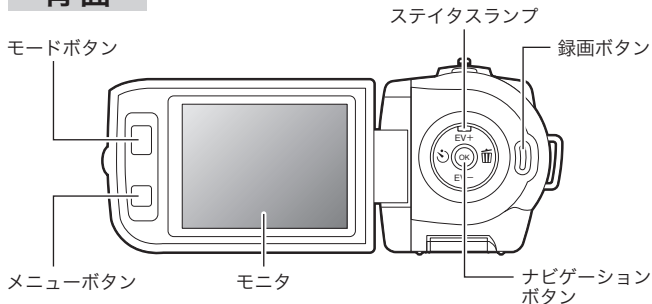
本製品で記録したものを私的な目的以外で著作権者、およびほかの権利者の承諾を得ずに複製・配布・配信することは、著作権法および国際条約の規定により禁止されています。なお、実演、興業、展示物などで、個人として楽しむなどの目的であっても、記録を制限している場合があるのでご注意ください。

パッケージ内容

ご使用の前にご確認ください。

カメラ本体　専用リチウムイオン充電池　AC電源アダプター

USBケーブル　AVケーブル　HDMIケーブル

ポーチ　取扱説明書(本書)　保証書

(注)イラストと実際の形状が若干異なる場合があります。

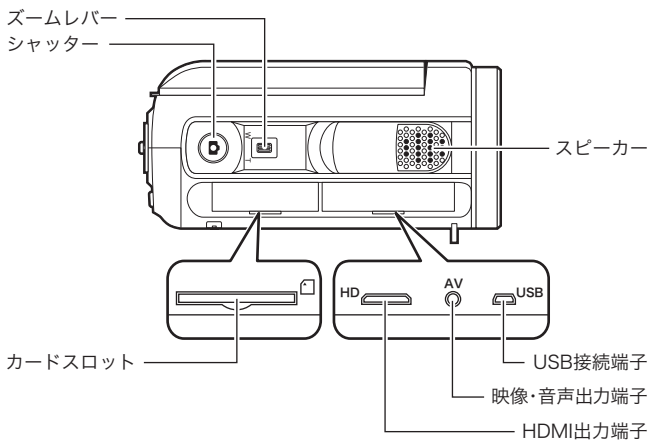
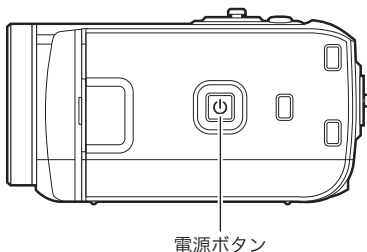
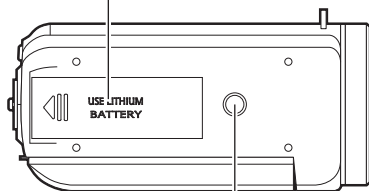
各部の名称

正面

背面

(注)イラストは説明の為、ストラップを省略しています。

上面

ズームレバー
シャッター
スピーカー
HD
AV
USB
カードスロット
USB接続端子
映像・音声出力端子
HDMI出力端子

中側面

底面

電源について

本製品では、必ず付属の**専用リチウムイオン充電池**を使用してください。

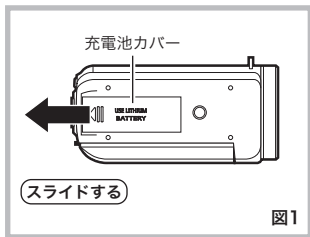
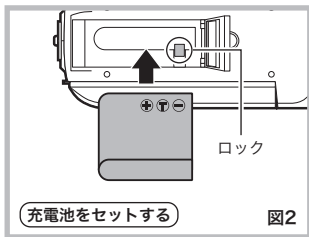
◆P.6〜8に記載の電池に関する使用上の注意をよくお読みください。

○付属のリチウムイオン充電池は本製品専用です。絶対に他の充電池を使用しないでください。また、本充電池を他製品で使用したり、他機器で充電しないでください。

充電池をセットする

○カメラ本体から充電池を着脱する場合は、必ず電源をオフにしてください。
○充電池をカメラ本体にセットする際、電池の＋–方向に注意してください。

図1

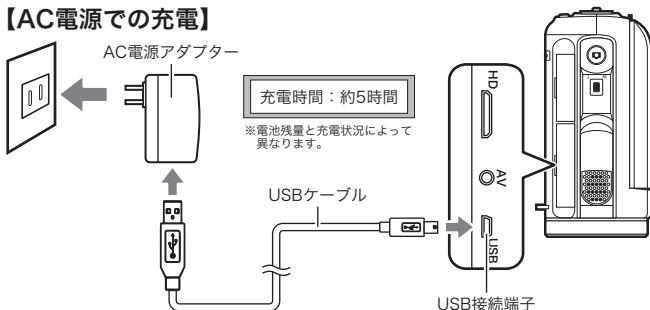
図2

①**充電池カバー**を図1の方向にスライドすると、**充電池カバー**が開きます。

②**ロック**をスライドさせて、付属の**充電池**を本体にセットしてください。図２（方向に注意してください）。

③最後に**充電池カバー**をしっかりと閉めます。

充電池を充電する

本製品に付属されたリチウムイオン充電池の充電は、カメラ本体でおこないます。

【AC電源での充電】

①充電池をカメラ本体にセットします。
②カメラ本体と**AC電源アダプター**を**USBケーブル**で接続します。
③**AC電源アダプター**を家庭用電源コンセントに接続します。
④充電池の充電が始まります。

○充電が終了したら、すみやかにAC電源アダプターをコンセントから抜いてください。
○誤った方向に無理に充電池をセットすると、充電池もしくはカメラ本体が破損する恐れがあります。ご注意ください。
○充電池に関する注意事項が(P.6〜8)に記載されています。必ずよくお読みになり、正しく安全にご使用ください。

【USB給電での充電】

リチウムイオン充電池の充電は、パソコン等のUSB接続端子に、付属のUSBケーブルで接続してもおこなえます。

①充電池をカメラ本体にセットします。
②カメラ本体とパソコン等(電源オン)を**USBケーブル**で接続します。
③充電池の充電が始まります。

SDメモリーカードを使う

撮影したファイルは、カメラ本体の内蔵メモリに記録されますが、**SDメモリーカード**を使用すれば、撮影時間/枚数を増やすことができます。

SDメモリーカード(別売・2GBまで)・SDHCメモリーカード(別売・32GBまで)対応。

本製品に搭載されている**内蔵メモリは、電源供給されている間のみ、撮影した画像を保存します。**「電源オフ」や「電池切れ」など電源が供給されない状態になると、**内蔵メモリに撮影記録された画像は消去されます。**
SDメモリーカード(別売)を使って撮影記録された場合は消去されません。

○カードの着脱をする場合は、必ずカメラの電源をオフにしてください。電源がオンの状態でおこなうと、データの破損、およびカメラの故障の原因になります。
○内蔵メモリに撮影ファイルを保存した際は、電源を切らずにパソコンと接続してファイルの取り込みをおこなってください(P.44〜46)。

使用時のご注意

ライトプロテクトスイッチについて

SD/SDHCメモリーカードには「ライトプロテクトスイッチ」がついています。このスイッチがロックされている状態では、データの書き込み/消去が禁止され、記録されているデータが保護されます。記録/消去する際には、ロックが解除されていることを確認してください。

接続・転送中にカードを取り外さない

カメラとパソコンを接続したり、パソコンへデータを転送している最中に、カードをカメラから取り外さないでください。記録されているデータ、カード、カメラが破損する恐れがあります。

カードのフォーマット(初期化)はカメラで

カードのフォーマットは、必ずカメラのフォーマット機能を使用しておこなってください(→P.42「フォーマット」)。

ファイル名/ディレクトリ名を変更しない

カメラとパソコンの接続中、パソコンにおいてカードに記録されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更しないでください。カメラが認識できなくなり、機能に障害をもたらす恐れがあります。

○カードは精密機器です。乱暴に扱わないでください。また、静電気をおびていると、認識されなかったり、カメラが誤作動する場合があります。

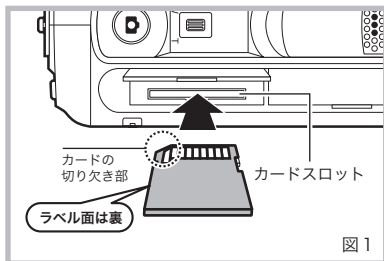
○カードを使用中、誤作動や故障により記録データが失われる場合があります。その場合、故障や損害の原因、内容に関わらず、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

○カードに異常がある場合は、フォーマット(初期化)することで正常になる場合があります。(フォーマットを行うと、記録されているデータはすべて失われます。予めご了承の上でフォーマットをおこなってください。)

○カードが汚れてしまった場合は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。

SDメモリーカードをセットする

SDメモリーカードは**カードスロット**に差し込みます。

図1

①カメラの電源がオフになっていることを確認します。

②**カードスロット**のカバーを(図1)を参照して開きます。

③SDメモリーカードは方向に注意して、**カードスロット**に、カチッと音がなるまでしっかりと差し込みます。

④**カードスロット**のカバーを閉めます。

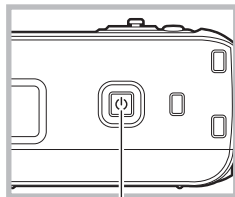
⑤モニタを開いてカメラの電源をオンにします。モニタにSDメモリーカードのアイコン SD が表示されます。

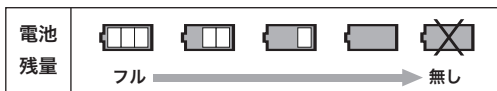
◆SDメモリーカードを取り外すときは、指で軽く押すとSDメモリーカードが跳ね上がり、引き抜くことができます。

電源のオン/オフ

電源をオンにするにはモニタを開くか、**《電源》**ボタンを押します。

電源をオフにするにはモニタを閉じるか、**《電源》**ボタンを押します。

電源の消し忘れ、電池消耗防止の『オートパワーオフ』機能（→P.43）を設定することができます。何も操作しない状態が60秒（または120秒）間続くと、自動的に電源がオフになる設定です。

電池の残量表示

電池の残量は、モニタ上の**バッテリーアイコン**で5段階に表示されます。

ステイタスランプ表示内容

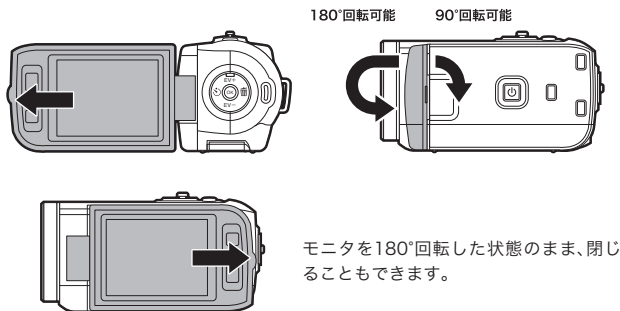
ステイタスランプの表示内容は以下の状態をあらわします（ランプの位置はP.10参照）。

ランプの状態	ステイタスランプ
赤点灯	電源オン時
赤点滅	動画撮影中/カメラ内処理中

ストラップの長さ調節

本体に接続されている**ストラップ**は、長さ調節が可能です。
ストラップに付属しているマジックテープを開いて、お好きな長さに調整してから閉じてください。本体からの取り外しはできません。

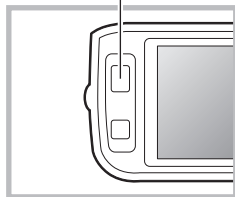
モニタの回転

モニタを180°回転した状態のまま、閉じることもできます。

○モニタは360°回転することはできません。無理な方向に回転させたり、曲げたりしないでください。
○持ち運び、保管時には、カメラのモニタを本体側に収納してください。

モードの切り換え

❶ **動画モード** ❷ **静止画モード** ❸ **再生モード** ❹ **設定モード**の4種類のモードがあります。

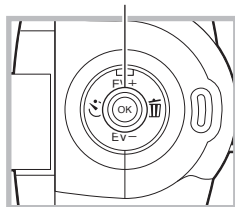
モードボタン

❶	**：動画モード**	**ー**	**動画撮影**
❷	**：静止画モード**	**ー**	**静止画撮影**
❸	**：再生モード**	**ー**	**各種再生**
❹	**：設定モード**	**ー**	**各種設定**

モードは**〈モード〉**ボタンで設定します。**〈モード〉**ボタンを押すごとに4種類のモードが切り換わります。

ナビゲーションボタンの操作方法

本製品では**〈ナビゲーション〉**ボタンを使い、カメラの操作をすることができます。

〈ナビゲーション〉ボタンを▲▼◀▶の方向に押して項目を選択します。
〈ナビゲーション〉ボタンを押す事で、選択した設定を確定させます。

ナビゲーションボタン

〈ナビゲーション▲▼◀▶〉ボタンを押す：項目、表示ファイルの移動
〈ナビゲーション〉ボタンを押す　　　：選択した項目、ファイルの選択または決定

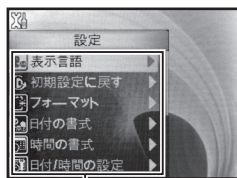
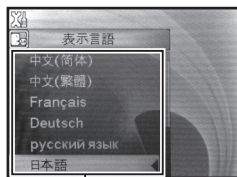
【設定モードでの操作例】

①**〈モード〉**ボタンを押して、設定モードのメニュー画面を表示します。

②**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して、設定したい『メニュー項目』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタン、または**〈ナビゲーション▶〉**ボタンを押します。

③『サブメニュー項目』が表示されるので、**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して選択します。

④**〈ナビゲーション〉**ボタンを押して、メニュー項目の設定を確定します。設定が確定するとメニュー画面に戻ります。

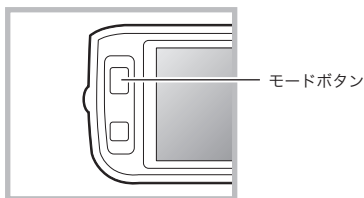
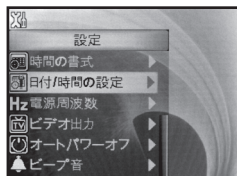
※設定を変更しない場合は**〈ナビゲーション◀〉**ボタン、またはサブメニュー項目の『戻る』を選択し**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

【メニュー画面】

メニュー項目

【サブメニュー画面】

サブメニュー項目

日付/時間の設定

撮影を始める前に、**日付と時間の設定**をおこないます。

①カメラの電源をオンにして、**〈モード〉**ボタンで**設定モード**に設定します。

【メニュー画面】

②**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して、『日付/時間の設定』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタン、または**〈ナビゲーション▶〉**ボタンを押します。

③**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンで『はい』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押します。

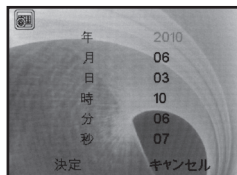
④年が黄色く選択されています。**〈ナビゲーション◀▶〉**ボタンで数値を入力します。

⑤**〈ナビゲーション▼〉**ボタンで月に移動し、**〈ナビゲーション◀▶〉**ボタンで数値を入力します。

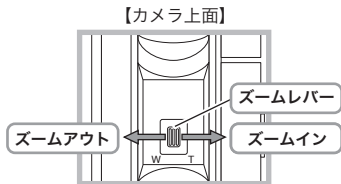
⑥同様に各項目の数値を全て入力し、『決定』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと設定が確定します。

【日付/時間の設定画面】

⑦設定を確定したあと、**〈モード〉**ボタンを押すと、動画撮影モードに戻ります。

◆長期間カメラに電力が供給されない状態で放置した後は、その都度本設定をおこなってください。

ズーム撮影をする

最大24倍までの**ズーム撮影**ができます。
カメラ上面にある**〈ズームレバー〉**でズームを調整します。右の方向に押すとズームイン（望遠）、左の方向に押すとズームアウト（広角）します。

【カメラ上面】

ズームインジケータ

光学ズーム/デジタルズーム

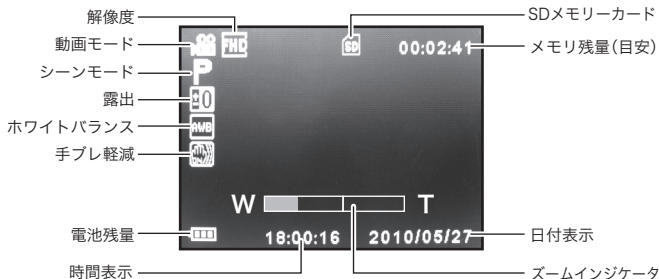
光学ズーム　　：最大3倍
デジタルズーム：最大8倍

◆高倍率のデジタルズームの使用は、画質の劣化原因となります。

暗所撮影用LEDライト

動画モード、静止画モードで**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと、**暗所撮影用LEDライト**が点灯します。
消灯する場合は**〈ナビゲーション〉**ボタンを再度押してください。

◆点灯を続けると充電池の消耗が早まりますのでご注意ください。

動画を撮影する

①カメラの電源をオンにして、**〈モード〉**ボタンで**『動画モード 』**に設定します。

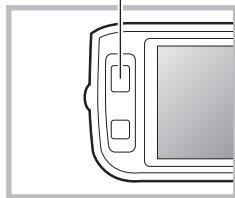
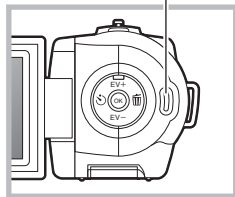
②モニタで被写体を確認し、**〈録画〉**ボタンを押すと、動画撮影を開始します。

◆撮影中の撮影時間が表示されます。

③撮影を停止するには、再度**〈録画〉**ボタンを押します。

◆撮影中にマイクを指で押さえないようにご注意ください。

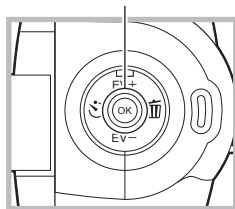
◆撮影の前に、日付と時間の設定をおこなってください(→ P.20)。

◆撮影可能時間はメモリの空き容量に依存し、空き容量が無くなると撮影は終了します。

動画のクイック設定

動画モードで**〈ナビゲーション▲▼◀▶〉**ボタンを押すと、動画撮影の為のいろいろな**クイック設定**ができます。設定の内容は以下の2種類です。

❶ 露出　❷ 動画ファイルの削除

◆撮影停止状態でのみ設定できます。

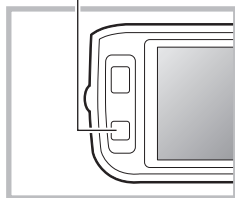
ナビゲーションボタン

露出

露出(動画の明るさの状態を補正)の設定です。
通常は、**0 EV**に設定しますが、**-2.0 EV** から **+2.0 EV** の間で調整できます。
〈ナビゲーション▲▼〉ボタンを押して設定してください。

動画ファイルの削除

最後に記録されたファイルから順に、動画ファイルを削除できます。
〈ナビゲーション▶〉ボタンを押すと確認の画面が表示されます。黄色く表示されている文字が選択された項目です。**〈ナビゲーション◀▶〉**ボタンで『削除』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すとファイルは直ちに削除されます。削除しない場合は『キャンセル』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すとキャンセルされます。

動画モードのメニュー設定

動画モードで**〈メニュー〉**ボタンを押すと、動画撮影の為のいろいろな設定ができる、**メニュー画面**が表示されます。

メニュー設定の基本操作

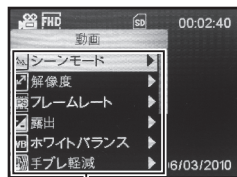
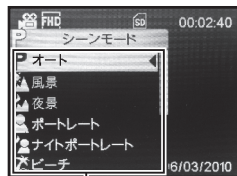
①**〈メニュー〉**ボタンを押して、動画モードのメニュー画面を表示します。

②**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して、設定したい『メニュー項目』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタン、または**〈ナビゲーション▶〉**ボタンを押します。

③『サブメニュー項目』が表示されるので、**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して選択します。

④**〈ナビゲーション〉**ボタンを押して、メニュー項目の設定を確定します。設定が確定するとメニュー画面に戻ります。

※設定を変更しない場合は**〈ナビゲーション◀〉**ボタンを押すと前の画面に、またはメニュー項目の『戻る』を選択し**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと動画モードに戻ります。

【メニュー画面】

メニュー項目

【サブメニュー画面】

サブメニュー項目

シーンモード

動画メニュー設定

動画の撮影シーンを設定します。

オート：環境にあわせ、カメラのセンサーが自動調整します。

風景：風景の撮影に適したモードです。

夜景：夜、暗い中での撮影に適したモードです。

ポートレート：人物の撮影に適したモードです。

ナイトポートレート：夜の人物の撮影に適したモードです。

ビーチ：砂浜での撮影に適したモードです。

スポーツ：動きの速い被写体の撮影に適したモードです。

キャンドル：薄暗い室内での撮影に適したモードです。

あらかじめ撮影環境にあわせて適した設定がされているためLEDランプの使用に制限があったり、「メニュー設定」において、設定に制限があったり、設定自体が選択できないものがあります。

解像度

動画メニュー設定

動画の画像サイズを設定します(サイズ単位:ピクセル)。

FHD : 1440 x 1080

HD : 1280 x 720

VGA : 640 x 480

QVGA : 320 x 240

フレームレート

動画メニュー設定

動画のフレームレートを設定します

15 FPS / 30 FPS / 60 FPS

◆解像度の設定によっては、選択できないものがあります。

露出

動画メニュー設定

露出補正(動画の明るさの状態を補正)を設定します

+2.0EV / +1.5EV / +1.0EV / 0EV / -1.0EV / -1.5EV / -2.0EV

ホワイトバランス

動画メニュー設定

光源による色の違いを自然な色合いに近付ける調整です。

オート: 環境にあわせ､カメラが自動調整します。

晴天　: 晴れた屋外に適しています。

曇り　: 曇天の屋外に適しています。

白熱灯: 白熱電球照明の環境に適しています。

蛍光灯: 蛍光灯照明の環境に適しています。

手ブレ軽減

動画メニュー設定

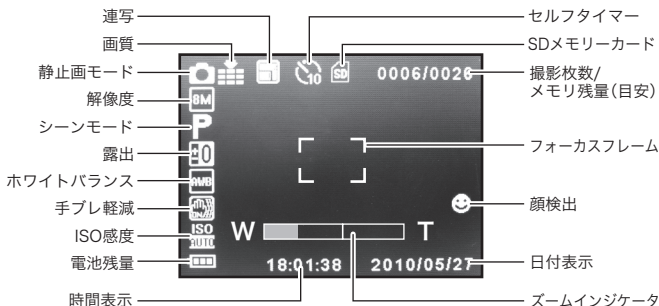
撮影中に起こる手ブレ(振動)を軽減することができます。

オン

オフ

◆撮影した画像は多少ざらついた感じがしたり､画質が劣化する場合があります。
◆手ブレや被写体ブレが大きい場合､手ブレ軽減が体感できない場合があります。

○メニュー項目のなかには､シーンモードにより表示されないものがあります。
○メニュー項目の組み合わせによっては選択できないものがあります。

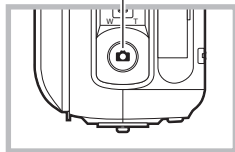
静止画を撮影する

①カメラの電源をオンにして、**〈モード〉**ボタンで**『静止画モード** ■**』**に設定します。

②モニタで被写体を確認し、**〈シャッター〉**を半押ししてピントを合わせます。

モニタ上のフォーカスフレームが緑色に変化すると、オートフォーカスのピントが合った状態です。赤色の場合はピントが合っていません。もう一度カメラを被写体に向け直してピントを合わせてください。

◆ピントが合いづらい場合は、ズーム撮影を併用してください。

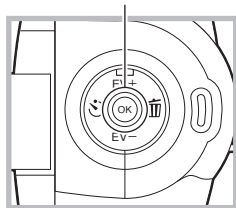
③**〈シャッター〉**を押し切り撮影します。撮影時、カメラがぶれないようにしっかりと固定してください。

◆撮影の前に、日付と時間の設定をおこなってください(→ P.20)。
◆撮影可能枚数はメモリの空き容量に依存します。

○シャッターを押した直後はカメラが撮影・記録処理している最中です。**カメラをしっかりと固定し、絶対に動かさないでください。**直後にカメラを動かしてしまうと、画像がブレてしまいます。

静止画のクイック設定

静止画モードで**〈ナビゲーション▲▼◀▶〉**ボタンを押すと、静止画撮影の為のいろいろな**クイック設定**ができます。設定の内容は以下の3種類です。

❶ 露出　❷ 静止画ファイルの削除
❸ セルフタイマー撮影

◆撮影停止状態でのみ設定できます。

露出

動画モードと同様に、露出(静止画の明るさの状態を補正)の設定ができます。
操作は動画モードと同様です(→P.23)。

静止画ファイルの削除

動画モードと同様に、最後に記録されたファイルから順に、静止画ファイルを削除できます。操作は動画モードと同様です(→P.23)。

セルフタイマー撮影

静止画モードではセルフタイマー撮影ができます。**〈ナビゲーション◀〉**ボタンを押すごとに、その時の静止画のモード設定で使用できるセルフタイマーのアイコンがモニタに表示されます。

◆モード設定によっては使用できない場合や、選べる種類に制限がある場合があります。

表示アイコン	機　能	はたらき
(セルフタイマー10)	10秒	10秒後に撮影を開始します。
(セルフタイマー5)	5秒	5秒後に撮影を開始します。

静止画モードのメニュー設定

静止画モードで**〈メニュー〉**ボタンを押すと、静止画撮影の為のいろいろな設定ができる、**メニュー画面**が表示されます。
操作方法は動画モードのメニュー設定と同様です。P.24を参照してください。

シーンモード

静止画メニュー設定

静止画の撮影シーンを設定します。

オート：環境にあわせ、カメラのセンサーが自動調整します。

風景：風景の撮影に適したモードです。

ポートレート：人物の撮影に適したモードです。

ナイトポートレート：夜の人物の撮影に適したモードです。

ビーチ：砂浜での撮影に適したモードです。

スポーツ：動きの速い被写体の撮影に適したモードです。

キャンドル：薄暗い室内での撮影に適したモードです。

高感度：高感度での撮影に適したモードです。

あらかじめ撮影環境にあわせて適した設定がされているためLEDランプの使用に制限があったり、「メニュー設定」において、設定に制限があったり、設定自体が選択できないものがあります。

解像度

静止画メニュー設定

静止画の画像サイズを設定します（サイズ単位:ピクセル）。

12M : 4032 x 3024

10M : 3648 x 2736

8M : 3264 x 2448

7M（16 : 9HD）: 3648 x 2048

5M : 2592 x 1944

3M : 2048 x 1536

2M（16 : 9HD）: 1920 x 1080

VGA : 640 x 480

◆12M、10M、8M、7Mは画像補正をおこなっています。他のサイズに比べ、画質が粗くなる場合があります。

画質　静止画メニュー設定

静止画の画質を設定します。高画質なほど鮮明な画像となり、ファイル容量が大きくなります。

スーパーファイン　**ファイン**　**ノーマル**

ISO感度　静止画メニュー設定

静止画のISO感度を設定します。

AUTO / 100 / 200 / 400 / 800 / 1600 / 3200

◆感度を上げると暗い環境での撮影も可能になりますが、ノイズが増え画質が劣化します。

露出　静止画メニュー設定

露出補正（静止画の明るさの状態を補正）を設定します

+2.0EV / +1.5EV / +1.0EV / 0EV / -1.0EV / -1.5EV / -2.0EV

シャープネス　静止画メニュー設定

静止画のシャープネス（鮮鋭度）を設定します

ソフト　**ノーマル**　**ハード**

ホワイトバランス　静止画メニュー設定

光源による色の違いを自然な色合いに近付ける調整です。

オート: 環境にあわせ、カメラが自動調整します。

晴天　: 晴れた屋外に適しています。

曇り　: 曇天の屋外に適しています。

白熱灯: 白熱電球照明の環境に適しています。

蛍光灯: 蛍光灯照明の環境に適しています。

手ブレ軽減　　静止画メニュー設定

撮影中に起こる手ブレ(振動)を軽減することができます。

 オン

 オフ

◆撮影した画像は多少ざらついた感じがしたり、画質が劣化する場合があります。
◆手ブレや被写体ブレが大きい場合、手ブレ軽減が体感できない場合があります。

日付スタンプ　　静止画メニュー設定

静止画に日付を付けることができます。

オン

 オフ

◆撮影の前に、日付と時間の設定をおこなってください(→ P.20)。

連写　　静止画メニュー設定

一度**〈シャッター〉**を押すと、3枚の静止画を連続して撮影する機能です。

オン / **オフ**

◆連写は自動解除されません。解除するには、メニューよりオフを選択してください。

顔検出　　静止画メニュー設定

被写体の『顔』を検出する機能です。

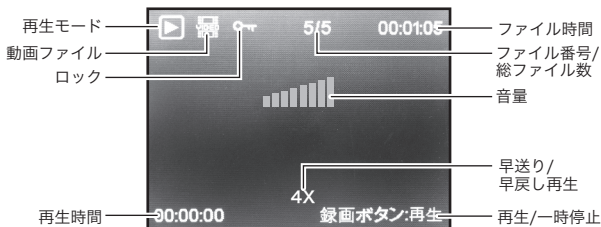
オフ：顔検出を使用しません。

顔検出　　：カメラが被写体の『顔』を検出すると、四角枠がモニタに表示されます。**〈シャッター〉**をゆっくりと押し切り、撮影をします。

スマイル検出：カメラが被写体の『笑顔』を検出すると、自動で撮影をします。

◆撮影環境、人物の顔の向きなどにより本機能がはたらかない場合があります。

○メニュー項目のなかには、シーンモードにより表示されないものがあります。
○メニュー項目の組み合わせによっては選択できないものがあります。

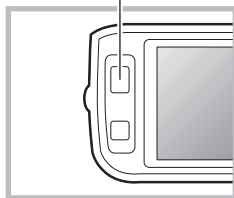
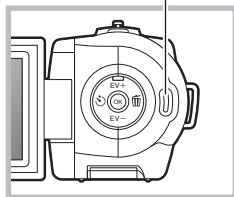
動画を再生する

①カメラの電源をオンにして、**〈モード〉**ボタンで**『再生モード ▶ 』**に設定します。

②**〈ナビゲーション◀▶〉**ボタンで再生する動画ファイルを選択します。

③**〈録画〉**ボタンを押すと再生が開始します。

④再生を一時停止するには、再度**〈録画〉**ボタンを押します。

⑤再生を停止するには、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押します。

◆音量は**〈ズームレバー〉**で調整します。
ズームレバー右(音量大)/ズームレバー左(音量小)
◆一時停止中は音量の調節はできません。

ファイルのサムネイル表示

全ファイルを**サムネイル表示**します。ファイル検索に便利な機能です。

：動画ファイル

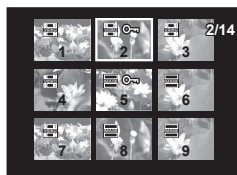
：静止画ファイル

【サムネイル表示】

①再生モードで**〈ナビゲーション▲〉**ボタンを押します。

②モニタに最大9コマの小さいファイルが表示されます。

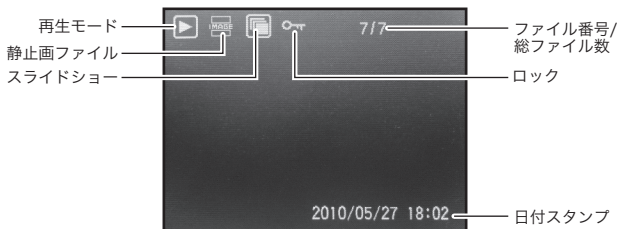
③最後に記録されたファイルは白い枠で表示され、そのファイルが選択された状態を示します。**〈ナビゲーション▲▼◀▶〉**ボタンを押してファイルの選択を変更します。

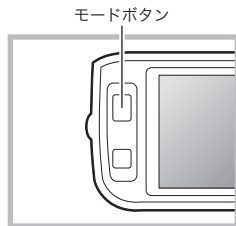
④**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと選択が確定し、通常の再生画面になります。

動画ファイルの早送り再生/早戻し再生

再生中に**〈ナビゲーション▶〉**ボタンを押すと**早送り再生**、**〈ナビゲーション◀〉**ボタンを押すと**早戻し再生**になります。**〈ナビゲーション◀▶〉**ボタンを押すごとに早送り再生、早戻し再生の速度が2倍、4倍、8倍と変わります。

早送り再生、早戻し再生を解除するには**〈ナビゲーション◀▶〉**ボタンで通常再生に戻します。

◆早戻し/早送り再生中は音声は再生されません。
◆一時停止中は音量の調節はできません。

静止画を再生する

①カメラの電源をオンにして、**〈モード〉**ボタンで**『再生モード ▶ 』**に設定します。

②**〈ナビゲーション◀▶〉**ボタンで再生する静止画ファイルを選択します。

ファイルのサムネイル表示

全ファイルを**サムネイル表示**します。ファイル検索に便利な機能です(P.33参照)。

静止画の拡大表示

静止画ファイルは**拡大表示**することができます。

【拡大表示画面】

①静止画ファイルの表示中に**〈ズームレバー〉**を右に押すと**拡大(ズームイン)**表示することができます。**〈ズームレバー〉**を左に押すと**縮小(ズームアウト)**します。

②**〈ナビゲーション▲▼◀▶〉**ボタンを押すと表示領域を移動できます。表示領域はモニタのインジケーターに表示されます。

③拡大表示を解除するには**〈ズームレバー〉**を左に押して縮小(ズームアウト)するか、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと通常の再生画面に戻ります。

◆拡大表示は静止画ファイルのみです。動画ファイルは拡大表示できません。

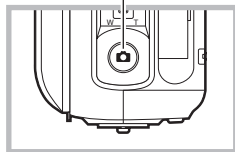
静止画のスライドショー

静止画ファイルをスライドのように順番に自動再生します。

①再生モードで静止画ファイルの表示中に**〈シャッター〉**を押します。

②スライドショー再生が開始します。

③スライドショー再生を停止するには、再度**〈シャッター〉**を押します。

◆スライドショー再生は停止するまで継続されます。

再生モードのメニュー設定

再生モードで**〈メニュー〉**ボタンを押すと、ファイルのいろいろな設定ができる、**メニュー画面**が表示されます。
操作方法は動画モードのメニュー設定と同様です。P.24を参照してください。

保護　動画ファイル/静止画ファイル

ファイルを保護する設定ができます。P.37〜38を参照してください。

画像の回転　静止画ファイル

静止画ファイルを時計回りに回転させ、上書き保存します。

90° / 180° / 270°

◆画像の回転は静止画ファイルのみです。動画ファイルは回転できません。
◆保護されているファイルは回転できません。

削除　動画ファイル/静止画ファイル

ファイルを削除します。P.39を参照してください。

印刷　静止画ファイル

静止画ファイルを対応プリンタから直接印刷します。P.40を参照してください。

ファイルを保護/削除する

保護

誤って大切なファイルを削除しないように、削除操作から保護する設定ができます。

○削除操作からファイルを保護することができますが、フォーマット(→P.42)操作を行うと、保護は無効となりファイルは失われますのでご注意ください。

一つをロック

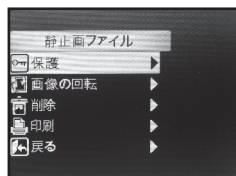
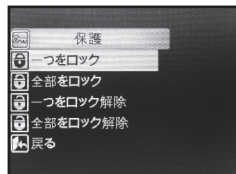
①再生モードで保護したいファイルを表示させます。

②**〈メニュー〉**ボタンを押して、再生モードのメニュー画面を表示します。

③**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して、『保護』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタン、または**〈ナビゲーション▶〉**ボタンを押します。

④『サブメニュー項目』から**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンで『一つをロック』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと保護が確定します。

⑤再生画面に戻ります。モニタに保護されたファイルを示す O┳ アイコンが表示されます。

【メニュー画面】

【サブメニュー画面】

全部をロック

上記①〜③の操作後、④で『全部をロック』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと全てのファイルが保護されます。

一つをロック解除

①再生モードで保護されたファイルを表示させます。

②**〈メニュー〉**ボタンを押して、再生モードのメニュー画面を表示します。

③**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して、『保護』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタン、または**〈ナビゲーション▶〉**ボタンを押します。

④『サブメニュー項目』から**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンで『一つをロック解除』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと保護が解除されます。

⑤再生画面に戻ります。モニタの アイコンの表示が消えます。

全部をロック解除

上記①～③の操作後、④で『全部をロック解除』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すとファイルの保護が解除され、全てのファイルから アイコンが消えます。

削除

記録したファイルを削除します。

○一度削除してしまったファイルは、復活させることができません。削除の前にファイルを十分に確認してください。

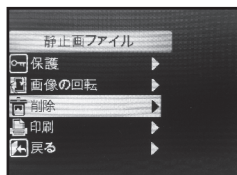
静止画/動画ファイルを削除

①再生モードで削除したいファイルを表示させます。

【メニュー画面】

②**〈メニュー〉**ボタンを押して、再生モードのメニュー画面を表示します。

③**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して、『削除』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタン、または**〈ナビゲーション▶〉**ボタンを押します。

④『サブメニュー項目』から**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンで、動画ファイルの場合は『動画ファイルを削除』、静止画ファイルの場合は『静止画ファイルを削除』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと、**ファイルは直ちに削除されます。**

全ての静止画/動画ファイルを削除

上記①～③の操作後、④で動画ファイルの場合は『全ての動画を削除』、静止画ファイルの場合は『全ての静止画を削除』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと、**モード別に全てのファイルは直ちに削除されます。**

全てのファイルを削除

上記①～③の操作後、④で『全てのファイルを削除』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すと、**全ての動画ファイル、静止画ファイルは直ちに削除されます。**

プリンターから印刷する

ダイレクトプリント

カメラと「ダイレクトプリント機能」対応のプリンターを付属のUSBケーブルで接続して、パソコンを経由せずに静止画のみプリントアウトが可能です。

本機能はプリンタの仕様に依存します。ダイレクトプリント対応のプリンターでも使用できない場合や、使用できない機能、設定自体の制限があります。また、撮影した画像サイズに対応せず、印刷できない場合があります。あらかじめご了承ください。

①カメラの電源をオンにします。

②再生モードで印刷したい静止画ファイルを表示させます。

③**〈メニュー〉**ボタンを押して、再生モードのメニュー画面を表示します。

④**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して『印刷』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタン、または**〈ナビゲーション▶〉**ボタンを押します。

⑤『サブメニュー項目』から**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンで『印刷開始』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタンを押します。印刷をしない場合は『キャンセル』を選択すると再生画面に戻ります。

⑥付属のUSBケーブルでカメラとプリンター(電源オン)を接続します。

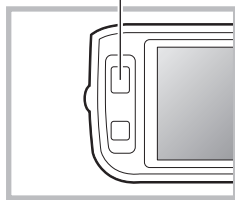
◆プリンター側のダイレクトプリント用のUSB端子の場所はプリンター付属の取扱説明書でご確認ください。

⑦接続と同時に印刷が開始されます。

⑧途中で印刷を止める場合は**〈ナビゲーション〉**ボタンを押します。

カメラ環境を設定する

カメラの使用環境の設定は**設定モード**で設定します。

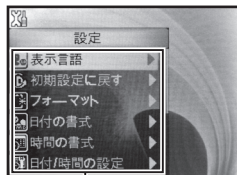
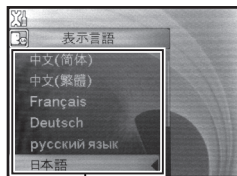
〈モード〉ボタンを押して設定します。設定モードではカメラ環境のいろいろな設定ができるメニュー画面が表示されます。

設定モードの基本操作

①カメラの電源をオンにして、**〈モード〉**ボタンで**『設定モード** 』に設定します。

②**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して、設定したい『メニュー項目』を選択し、**〈ナビゲーション〉**ボタン、または**〈ナビゲーション▶〉**ボタンを押します。

③『サブメニュー項目』が表示されるので、**〈ナビゲーション▲▼〉**ボタンを押して選択します。

④**〈ナビゲーション〉**ボタンを押して、メニュー項目の設定を確定します。設定が確定するとメニュー画面に戻ります。

※設定を変更しない場合は**〈ナビゲーション◀〉**ボタン、またはサブメニュー項目の『戻る』を選択し**〈ナビゲーション〉**ボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

【メニュー画面】

メニュー項目

【サブメニュー画面】

サブメニュー項目

表示言語　設定モードメニュー

日本語、またはその他の言語を表示言語として設定することができます。

初期設定に戻す　設定モードメニュー

カメラの設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

◆『日付/時間』の設定は継続されます。

フォーマット　設定モードメニュー

SDメモリーカードをフォーマット(初期化)します。SDメモリーカードがセットされている事を確認してください。フォーマットすると記録されているデータはすべて消去されるのでご注意ください。カードがセットされていない状態では、内蔵メモリがフォーマットされます。ご注意ください。

◆保護設定(→P.37〜38)されているファイルも消去されます。

○一度フォーマットして消去されたデータは、復活させることができません。フォーマットの前に記録されているデータをよく確認してください。

日付の書式　設定モードメニュー

日付の表示方法を設定します。

年/月/日 / 月/日/年 / 日/月/年 / 表示しない

時間の書式　設定モードメニュー

モニタに表示される時間の表示方法を設定します。

12時間表示 / 24時間表示 / 表示しない

日付/時間の設定　設定モードメニュー

日付と時間をセットします。設定方法の詳細はP.20を参照してください。

電源周波数

設定モードメニュー

室内照明下でよりよく撮影するため、照明の点灯周波数を合わせる設定です。
ご使用の地域に合わせて設定します。

50Hz：東日本地域 / 60Hz：西日本地域

ビデオ出力

設定モードメニュー

テレビ接続(→P.47〜48)の際に、あらかじめテレビの信号方式を選びます。
日本で使用する場合は **NTSC**を選択します。

NTSC	**日本**、韓国、台湾、アメリカ、カナダなど
PAL	中国、イギリス、ドイツ、イタリア、インドネシアなど

オートパワーオフ

設定モードメニュー

電源消し忘れ、電池消耗を防ぐオートパワーオフ機能です。
設定した時間の間、無操作状態が続くと、電源が自動的にオフになります。

60秒 / 120秒 / オフ

ビープ音

設定モードメニュー

ボタン音などのオン/オフを設定します。

パソコンへ取り込む

パソコンへカメラの画像を取り込むときは下記の手順で操作してください。

守ってください

ファイルを取り込む際には以下の注意事項を必ず守ってください。

○リムーバブルディスクからコピーをおこなっているとき(ファイル取り込み時)は、USBケーブル、SDメモリーカードを絶対に抜かないでください。

○本機以外の他機器で記録した動画ファイル、静止画ファイルは、本機で再生できない場合があります。

○リムーバブルディスク内にあるフォルダおよびファイルの名前は、パソコンで変更しないでください。

○リムーバブルディスクをパソコンでフォーマットしないでください。

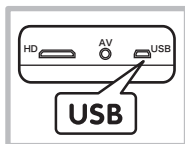
○リムーバブルディスク内にあるファイル(画像等)は、SDメモリーカード、または内蔵メモリに保存されているファイルです。このフォルダにあるファイルを削除してしまうと、SDメモリーカード、または内蔵メモリに保存されているファイルが消去されます。

取り込みの手順

①付属のUSBケーブルでカメラ(電源オフ)をパソコン(電源オン)に接続します。内蔵メモリに撮影ファイルを保存した際は、電源を切らずにパソコンと接続してください。

②カメラの電源をオンにします。

③パソコンがカメラを自動認識します。認識されるまでしばらくお待ちください。

カメラのUSB接続端子

パソコンのUSB接続端子

◆USB端子が標準装備されたパソコンに限ります。

◆USBハブや、拡張USBボードで接続した場合、カメラを認識しなかったり、エラーメッセージが表示されることがありますのでご注意ください。

◆Windows対応OSは、Windows XP（SP2） / Vista / 7、Macintosh対応OSはMac OS 10.5以上（2011年2月現在）となります。
◆カメラのモニタはMSDCとなります。

○USB端子にUSBケーブルを接続する際には、端子の向きに注意してください。間違った向きで無理に差し込むと、端子が破損してしまいます。

電力はカメラにセットしている電池から供給されます（パソコンからは充電されません）。また接続中は「オートパワーオフ」機能（→P.43）は働きません。

以降パソコンでの操作となります。

Windowsに取り込む

④**[マイコンピュータ]**（Windows Vista / 7の場合[コンピュータ、またはコンピューター]）の中に、**[リムーバブルディスク]**※という名前のドライブが表示されます。

⑤**[リムーバブルディスク]**※ → **[DCIM]** → **[DCIMの中の各種フォルダ]**の順にダブルクリックして開きます。**[DCIMの中の各種フォルダ]**の中に撮影したファイルが入っています。

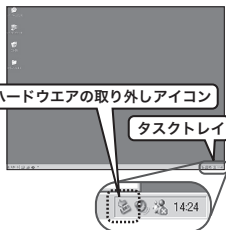
※お使いのパソコン環境により名称が異なる場合があります。

○この時点では、記録したデータはパソコンに取り込まれていません。この中のデータを消去してしまうと、記録しているデータが消去されてしまいます。

⑥取り込みたいファイルを選択しパソコンの任意のフォルダに保存（コピー）して、取り込みは完了です。

⑦パソコンとカメラの接続を、以下の手順で正しく接続を外します。

❶[タスクトレイ]の[ハードウエアの取り外し]アイコンをダブルクリックして、該当するドライブを停止します。

❷『安全に取り外すことができます』というメッセージが出てからカメラの接続を外します。

■ Windows Vista / 7で

Windows Vista / 7をお使いの場合、お使いのパソコンの環境・設定により、カメラとパソコンを接続した際に右図の読み込み画面が表示されます。[読み込み]のボタンを押すと、手順④〜⑥の操作をせずに、取り込みができます。

◆[オプション]の設定には、読み込み後にカメラの画像を消去する設定がありますのでご注意ください。

Macintoshに取り込む

④デスクトップに**[リムーバブルディスク]**※アイコン(ドライブ)が表示されます。

⑤**[リムーバブルディスク]**※ →**[DCIM]**→ **[DCIMの中の各種フォルダ]**の順にダブルクリックして開きます。**[DCIMの中の各種フォルダ]**の中に記録したファイルが入っています。

※お使いのパソコン環境により名称が異なる場合があります。

○この時点では、記録したファイルはパソコンに取り込まれていません。この中のファイルを消去してしまうと、記録しているファイルが消去されてしまいます。

⑥ファイルを選択し、Macintosh内の任意のフォルダに保存すれば、取り込みは完了です。

⑦[リムーバブルディスク]アイコンをワンクリックして選択し、アップルメニューの[ファイル]にある[取り出し]を選んで実行するか、アイコンを[ゴミ箱]へドラッグ&ドロップします。アイコンの表示がデスクトップから消えた事を確認します。

⑧Macintoshから本体の接続を外します。

テレビ接続

付属のAVケーブル、または付属のHDMIケーブルでカメラとテレビを接続すると、テレビ画面がカメラのモニタの役割となり、テレビに接続したまま撮影したり（HDMI接続の動画撮影を除く）、撮影した画像を再生することができます。

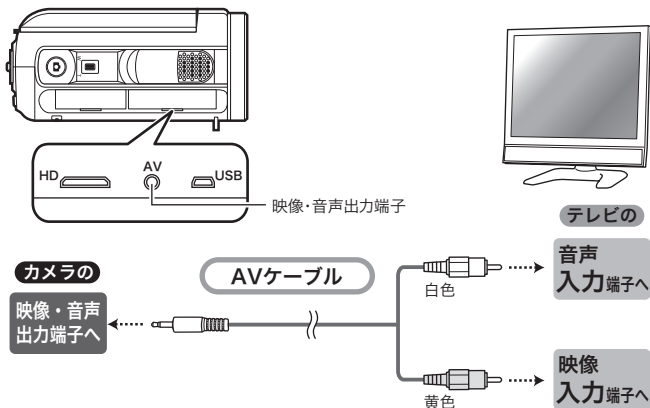
接続前の設定

あらかじめご使用の国・地域に合わせてテレビの映像信号方式をカメラで設定する必要があります。設定モードにある『ビデオ出力』のメニュー項目を『NTSC』に設定してください。

設定方法の詳細はP.43「ビデオ出力」をご覧ください。

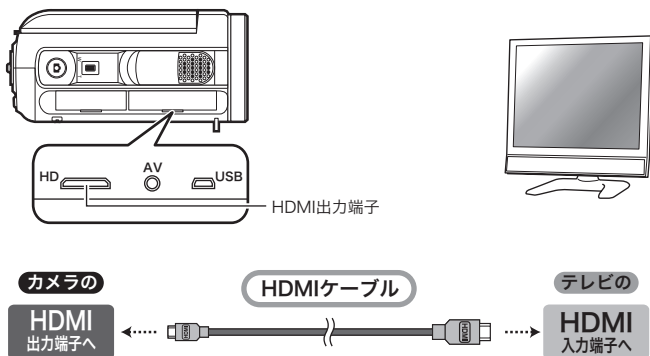
※設定が誤っていると、テレビ画面に正常に映りません。

カメラとテレビを接続する

①付属のAVケーブルでカメラとテレビ（両方ともに電源オフ状態）を接続します（P.48に続く）。

※接続するテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

カメラとHDMI入力端子付きテレビを接続する

付属のHDMIケーブルを使用して、カメラとHDMI入力端子搭載のテレビを接続して、より高画質な映像を楽しむ事ができます。

①付属のHDMIケーブルでカメラとテレビを(両方ともに電源オフ状態)接続します。

※接続するテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

接続後の操作方法

②テレビの電源をオンにして、テレビを外部入力またはHDMI入力モードに設定します。

◆接続するテレビの取扱説明書もあわせてお読みください。

③カメラの電源をオンにするとモニタはオフ表示となり、テレビ画面がモニタの役割となります(HDMI端子搭載テレビではカメラのモニタは継続して表示される場合があります)。

④接続を終了するときは、カメラとテレビ両方の電源をオフにしてから、ケーブルの接続を解除してください。

トラブルシューティング

故障と思われたら、もう一度確認・点検してみましょう。

カメラ操作時のトラブル

Q. カメラの電源が入りません。

A. ① 充電池の電池容量がなくなっている可能性があります。充電池を充電したのち、ご使用ください。

② 充電池の＋−極の方向が正しくセットされていない可能性があります。再度正しい方向に入れ直してください。

Q. カメラの電源が突然切れます。

A. ① 充電池の電池容量がなくなっている可能性があります。充電池を充電したのち、ご使用ください。

② 「オートパワーオフ」機能（→P.43）が働いた可能性があります。再度**〈電源〉**ボタンを押して電源をオンにしてください。

Q. 撮影できません。

A. ① メモリに空き容量が無くなった可能性があります。必要なデータをパソコンに取り込んだ後、メモリから消去してください。

② SDメモリーカードがロックされている可能性があります。カードのプロテクトスイッチを解除してください。

③ 撮影の際、押すボタンを間違えている可能性があります。動画は**〈録画〉**ボタンを押します。静止画は**〈シャッター〉**を押します。

Q. 静止画がぼけます。

A. ① 撮影時、カメラがぶれてしまった可能性があります。**〈シャッター〉**を押した後に、画面に表示が戻るまでしっかりと固定してください。また、レンズに指が被らないように注意してください。

Q. 撮影した画像が粗くなります。

A. 高倍率のデジタルズーム(→P.21)を使用すると画像が粗くなる場合があります。

Q. ファイルをすべて消去したのに、すぐに「カードがいっぱいです」の表示が出ます。

A. 他のモードのファイルが消去されず、残っている可能性があります。本製品では、ファイルの消去は動画ファイルと静止画ファイル別におこないます。すべてのモードのファイルを一括して消去するには『全てのファイルを削除』(→P.39)からファイルを削除します。『全てのファイルを削除』はモードに関係なく、全てのファイルを消去します。

パソコン接続時のトラブル

Q. リムーバブルディスクとしてパソコンに認識されません。

A. ① USBケーブルの接続ができていない可能性があります。しっかりと再接続してください。また、USBケーブルはUSBハブや拡張USBボードで接続した場合、正確に動作しない場合があります。

② 動作対象以外のパソコンOSを使用している可能性があります。

Q. リムーバブルディスクが見当たりません。

A. リムーバブルディスクの名称は、お使いのパソコンの環境により、名称が異なる場合があります。それらしいドライブを開いてみてください。

Q. パソコンに接続したのに画像が取り込まれていません。

A. 接続後、[リムーバブルディスク] → [DCIM]の順にフォルダをダブルリックして開きます。この[DCIM]内に撮影した画像ファイルが保存された各種のフォルダがあります。
画像を選択し、パソコンの任意の場所にコピーして取り込みは完了です。

Q. ソフトウエアを使用して画像の取り込みをしたが、カメラの接続解除ができません。

A. 取り込みに使用したソフトウエアを終了させてから、[タスクトレイ]にある[ハードウエアの取り外し]アイコンをダブルクリックし、接続を解除してください。ソフトウエアを先に終了しないと、「安全に取り外すことができます」というメッセージは表示されず、接続を解除できません。

テレビ接続時のトラブル

Q. テレビで再生できません。

A. ① 「ビデオ出力」(→P.43)の設定が正しく行われていない可能性があります。ご使用の地域に合わせて正しく設定してください。

② カメラ側またはテレビ側の端子に、正しくケーブルが接続されていない可能性があります。端子を確認し、再接続してください。

③ テレビ側の外部入力設定が正しく設定されていない可能性があります。テレビの取扱説明書を確認してください。

④ 正しい手順でのカメラ設定や接続が行われていない可能性があります。P.47～48の「テレビ接続」の操作手順を再確認してみてください。

製品の仕様

撮像素子	503万画素CMOSイメージセンサー 有効画素数：503万画素
内蔵メモリ	64MB容量※1
対応外部記憶媒体※2	SDメモリーカード/SDHCメモリーカード対応 対応容量：SDメモリーカード 32MB〜2GB ：SDHCメモリーカード 4GB〜32GB
保存形式	動画：MOV/静止画：JPEG
動画サイズ	FHD ：1440×1080 ピクセル(撮影コマ数：最大15コマ/秒)/ HD ：1280×720 ピクセル(撮影コマ数：最大15/30コマ/秒)/ VGA ：640×480 ピクセル(撮影コマ数：最大15/30/60コマ/秒)/ QVGA：320×240 ピクセル(撮影コマ数：最大15/30/60コマ/秒) コーデック方式：H.264/AVC(映像)/PCM(音声)
静止画サイズ※3	12M：4032×3024 ピクセル/10M：3648×2736 ピクセル/ 8M：3264×2448 ピクセル/7M：3648×2048 ピクセル/ 5M：2592×1944 ピクセル/3M：2048×1536 ピクセル/ 2M：1920×1080 ピクセル/VGA：640×480 ピクセル
モニタ	2.7型(インチ)TFTカラー液晶モニタ
レンズ	ズームレンズ F:3.6-6.8 f=7.51-20.78mm (35mmカメラ換算 31-88mm)
撮影距離	2m 〜 ∞
ズーム	最大24倍 (光学ズーム：最大3倍、デジタルズーム：最大8倍)※4
シャッタースピード	1/25 〜 1/3840秒
露出補正	–2.0 EV〜+2.0 EV
ISO感度	オート/ISO100/200/400/800/1600/3200
ホワイトバランス	オート/晴天/曇り/白熱灯/蛍光灯
暗所撮影用LEDライト	モード：オン/オフ

セルフタイマー	オフ/5秒/10秒
オートパワーオフ	オフ/約60秒後/約120秒後
出入力端子	USB 2.0※5/映像・音声出力端子/HDMI出力端子
テレビ信号方式	NTSC/PAL
電源	CA NP-40 リチウムイオン充電池
電源寿命※6	動画撮影 約1時間40分
使用環境	温度0℃～ 40℃(結露なきこと)
外形寸法	約(W)123mm ×(H)62mm ×(D)62mm(付属品除く)
重量	約254g(充電池、およびその他付属品除く)

○すべてのデータは、当社測定条件によります。都合により記載内容を予告なしに変更することがあります。

※1内蔵メモリはシステムとして使用する部分もあり、搭載しているメモリのすべてを記録に使用できるわけではありません。内蔵メモリは電源供給されている間のみ、撮影した画像を保存します。「電池切れ」や「カメラから電池を抜く」など、電源が供給されない状態になると、内蔵メモリに撮影記録された画像は消去されます。別売のSDメモリーカードを使って撮影記録された場合は消去されません 。

※2SD/SDHCメモリーカードは、種類、メーカー、ブランド、また使用状況により対応できない場合があります。

※3静止画の画像サイズ12M、10M、8M、7Mは画像補正をおこなっています。他のサイズに比べ、画質が粗くなる場合があります。

※4デジタルズーム撮影を行った場合、特性上、倍率によって画質が粗くなる場合があります。

※5USB1.1インターフェースのパソコンと接続すると、USB1.1として動作します。

※6製造日までの保存期間、使用状況により電池性能に差が生じ、電池寿命が記載より短くなる場合があります。本仕様はあくまでも目安としてご参考ください。

液晶画面について

以下は液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。

◎一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。

◎明るさにむらが生じる場合があります。

◎太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

主な機能/特長

○ハイビジョン撮影 ○ストレージクラス対応 ○音声付き動画撮影/再生 ○静止画撮影(セルフタイマー撮影/連写撮影/顔検出)/再生 ○光学3倍ズーム撮影 ○デジタル8倍ズーム撮影 ○2.7型TFTカラー液晶モニタ ○手ブレ軽減機能 ○暗所撮影用LEDライト ○ダイレクトプリント ○テレビ接続 ○HDMI出力 ○SD/SDHCメモリーカード対応

撮影可能時間/枚数の目安(2GB SDメモリーカード使用時)

撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定でないため、記録可能時間/枚数に差があります。目安としてご参考ください。また、複数の機能で撮影した場合、メモリの残量に依存します。

【動画撮影】

画像サイズ	フレームレート	撮影可能時間
FHD 1440×1080	15FPS	約45分
HD 1280×720	15FPS	約1時間11分
	30FPS	約38分
VGA 640×480	15FPS	約1時間45分
	30FPS	約58分
	60FPS	約31分
QVGA 320×240	15FPS	約3時間11分
	30FPS	約1時間56分
	60FPS	約1時間5分

【静止画撮影】

画像サイズ	画質	撮影可能枚数
12M 4032×3024	スーパー	約306枚
	ファイン	約360枚
	ノーマル	約518枚
10M 3648×2736	スーパー	約375枚
	ファイン	約440枚
	ノーマル	約633枚
8M 3264×2448	スーパー	約468枚
	ファイン	約550枚
	ノーマル	約791枚

画像サイズ	画質	撮影可能枚数
7M(16:9 HD) 3648×2048	スーパー	約501枚
	ファイン	約588枚
	ノーマル	約847枚
5M 2592×1944	スーパー	約744枚
	ファイン	約873枚
	ノーマル	約1256枚
3M 2048×1536	スーパー	約1192枚
	ファイン	約1400枚
	ノーマル	約2013枚
2M(16:9 HD) 1920×1080	スーパー	約1809枚
	ファイン	約2124枚
	ノーマル	約3054枚
VGA 640×480	スーパー	9999枚以上
	ファイン	9999枚以上
	ノーマル	9999枚以上

パソコン接続環境

下記OSがプリインストールされ、USBインターフェースが標準装備されていること。

	Windows	Macintosh
OS	Windows XP SP2 / Vista / 7	Mac OS 10.5 以上（2011年3月現在）
CPU	Pentium IV 2.6GHz 以上（Vista / 7は1GHz 以上）	Power Macintosh G3 500MHz 以上
メモリ	1GB以上	512MB以上（1GB以上推奨）
ハードディスク	200MB以上の空き容量（Vistaは15GB以上）	150MB以上の空き容量
ディスプレイ	16ビット以上	
インターフェース	USB 1.1 または 2.0	

接続環境を満たすパソコンの中でも、一部機種の設定や構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

○Windows Vista 32bit/64bit、Windows 7 32bit/64bitに対応します。

○上記以外のOS、アップグレードしたOS がインストールされているパソコンについては、動作保証の対象外です。

○USBハブ、拡張USBボードを経由した接続での使用、自作機や改造したパソコンについては動作保証致しません。

アフターサービス

■保証書の記入事項

本製品のパッケージには、保証書が同梱されております。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください（保証書には保証規定が記載されていますのでよくお読みください）。

■修理をご依頼の前に

本取扱説明書の**トラブルシューティング**をよくお読みいただき、それでも解決しない場合には下記事務局までご相談ください。

製品に関するお問い合わせ

エグゼモード サポートセンター ☎0570-036-036

受付時間 10:00〜17:00
（土、日、祝祭日および当社指定休業日を除く）

メールアドレス　**support@exemode.com**
ホームページアドレス　**http://www.exemode.com**

■サポートセンターからのお願い

◯通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直しいただけますよう、お願い申し上げます。

◯年末年始などのサポートセンター休業日には、お客さまへのご対応ができない場合がございます。

※本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、サービスについては日本国内限定とさせていただきます。